

# 若竹

第五十六号



平成二十二年度愛媛県神道青年会 臨時總會



遠宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

## 愛媛県神道青年会

事務局 〒793-8555

愛媛県西条市西田甲 797

石鎚神社内

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>

## 巻頭言

### 新年度の御挨拶 愛媛県神道青年会

会長 長曾我部 信弥



先ず以て、聖寿の方歳と皇室の弥栄をお祝い申し上げますと共に、各社頭の隆昌を祈念いたします。

さて、三月十一日の東北地方を震源とする東日本大震災に依り、犠牲になられた全ての御霊に心静かに祈りを捧げたところでございますが、皆様方にはそれぞれの御立場で物心両面に渡り義捐活動をなされておることかと存じます。当会といたしましても、神道青年全国協議会或いは神道青年四国地区協議会との連絡を密にし、あらゆる支援活動を模索しながら行動を起こしておる処でございます。

さて、本会の諸事業・諸施策につきまし

て常日頃よりご指導ご鞭撻を賜り、又、お心寄せをいただきながら諸事滞りなく務めさせていただいておりますことは、偏に県内各社宮司様を始め、本会に心血を注がれました諸先輩方、或いは現役会員のご協力によるものと感謝いたしております。

過日開催されました臨時総会に於いて、前会長十亀博行氏の後任として、会長職を仰せつかることと相成りました。新役員一同、心一つに、この国難の時期に重責を拝命致したことを天命と位置付け、日本人が忘れかけていた「絆」を取り戻すべく、この多様化する現代社会において、日本国民として或いは神道人として、神道精神の根幹たる大御心を体し、神徳を宣揚すると共に、実践活動を進めることに尽力しなければならぬと考えております。

具体的な方策は、本年は公立中学教科書の採択がなされます。申し上げるまでも御座いせんが、愛媛県教科書改善協議会の下で、『新しい日本の歴史』『新しいみんなの公民』（育鵬社）採択推進活動等に率先して行動いたします。次に本県には、北朝鮮により拉致された可能性がある、特定失踪者といわれる方々が三名いらつしやいます。この方々の一刻も早い救出を願う心を国民誰もが持ち続けなければなりません。それこそが奪還への糸口となる事は申し上げるまでもありません。その為には、継続して救う声を出し続けるべく、救う会愛媛の下で、街頭啓発活動を重点的に取り組んでまいります。次に、近年では領土領海問題・皇位継承問題・所謂、靖國問題が御座います。これら時局に関する諸問題に即応すべく、従来の部会に時局問題担当を加えた渉外委員会を立上げ、担当副会長を選任し、神道青年全国協議会、神道青年四国地区協議会と連携し局面打開に向けた活動を執り進めてまいります。

以上の三点を重点的に執り進めるに当たり、私は今期の目標に「行動」という言葉を掲げさせていただきます。新聞・報道を目にして、嘆いたり批判していても何も変わりません。私が掲げた「行動」という言葉はまさに、「即応する」という事に他なりません。地域から求められる神明奉仕の役割に応えながらも、歴代会長が受け継いで来られた魂を継承し、さらに進化させ、行動していかねければならないと考えます。会員の皆様方もその思いの中で、青年会活動に取り組んで戴きたいと切望しております。

結びに、今後共、皆様の絶大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。会長就任に当たりますので、ご挨拶に代えさせていただきます。

新役員紹介



会長

長曾我部 信弥

(チヨウソカベ シンヤ)

昭和四十九年四月十四日生

伊豫豆比古命神社 権瀬宣



副会長 (渉外委員長)

田内 逸知

(タウチ ハヤトモ)

昭和四十九年十一月二十六日生

東雲神社 宮司



副会長 (広報委員長)

三輪田 尋道

(ミワタ ヒロミチ)

昭和四十八年三月二十五日生

和藪神社 権瀬宣



副会長 (教化委員長)

清家 貞文

(セイケ サダフミ)

昭和四十八年十一月三日生

八幡神社 権瀬宣



事務局長 (総務委員長)

十亀 雅史

(ツガメ マサフミ)

昭和五十年六月三十日生

石鐘神社 権瀬宣



理事 (教化委員)

後藤 雅彦

(ゴトウ マサヒコ)

昭和四十八年四月十七日生

伊豫豆比古命神社 権瀬宣



理事 (渉外委員)

高橋 政裕

(タカハシ マサヒロ)

昭和五十二年三月二十四日生

伊留乃神社 権瀬宣



理事 (広報委員)

池田 丈志

(イケタ タケシ)

昭和五十一年十一月二十二日生

愛媛縣護國神社 権瀬宣



理事 (広報委員)

矢野 忠臣

(ヤノ タダオミ)

昭和五十二年十一月二十八日生

石鐘神社 権瀬宣



理事 (教化委員)

田窪 大朗

(タクホ ヒロアキ)

昭和五十七年十一月十一日生

吹揚神社 権瀬宣



理事 (渉外委員)

柳原 永祥

(ヤナキハラ エイシヨウ)

昭和五十九年十月二十五日生

巖島神社 権瀬宣



監事

長曾我部 昭一郎

(チヨウソカベ ショウイチロウ)

昭和四十七年一月二十二日生

伊豫豆比古命神社 権瀬宣

神道青年全国協議会 監事



監事

十亀 博行

(ツガメ ヒロユキ)

昭和四十六年九月十六日生

石鐘神社 権瀬宣

神道青年四国地区協議会 会長

任期二年  
自平成二十三年四月一日  
至平成二十五年三月三十一日

## 新年正式参拝

### 臨時総会・研修会・互礼会報告

年が明けた一月二十六日、恒例の新年研修会が開催されました。

先ず年頭にあたり役員が挙って愛媛縣護國神社を正式参拝。小川宮司様から御挨拶を頂戴しました。

本年は改選年につき臨時総会を開催、長曾我部信弥新会長をはじめ新役員が承認されました。



新年研修会では、ここ数年好評を頂いているマナー講座を開催。本年は「テーブルマナー・洋食編」と題し、国際ホテルの支配人・土田和男様をお招きして、実際にワインを試飲したりして勉強しました。その後の互礼会では十亀神社庁長様をはじめ、ご来賓の皆様をお迎えして先輩方や会員同士の懇親を大いに深めました。



例年一月下旬に新年研修会を開催しております。来年も一人でも多くの会員の皆様のご参加を宜しく御願致します。

〔清家 貞文〕

## 慰問神楽

去る三月二日、松山市河野別府の河野保育園に於いて、恒例の第十三回慰問神楽を開催いたしました。

今回も、当青年会員有志に加え、南予の伊予神楽並びに石鎚神社巫女の皆様方のこ



協力を戴き、悠久の舞・神躰鉦女之舞・越殿楽・楽器紹介・大蛇の舞の五演目を演奏いたしました。河野保育園の園児の中には巫女舞を習っておられ、石鎚神社巫女による「悠久の舞」を静かに見入っていました。また、今回初めて試みました、高橋理事作製の紙芝居「天の岩戸」の神話を長曾我部副会長の朗読後、引き続き「神躰鉦女之舞」を行いました。園児にも紙芝居は好評で舞の意味についても心のどこかで理解できたのではないかと思います。

次に雅楽「越殿楽」の演奏後、「楽器紹介」になると初めて見る龍笛や各打ち物に目を輝かせていました。また、「故郷(ふるさと)」「ひなまつり」や、園児をはじめ、誰もがご存知の「アンパンマン」を十亀会長の龍笛による先導で皆さんと大合唱し、園児の心が一体となりました。

最終演目の「大蛇の舞」中の鬼との相撲



では園児の代表が次々と勇敢に鬼討伐に挑み、その姿に園児をはじめ会場からは声援と拍手が響き、賑やかな内に終演となりました。普段、神社をはじめ日本の歴史文化を体験・学習する機会が少なくなる中、園児達には貴重な体験になったのではないかと思います。

末筆ながら、ご協力賜りました、河野保育園の正岡園長様をはじめ、関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

渡邊 平



## 神道青年全国協議会

### 巫女のための神宮研修会

去る三月九日から十日の二日間、神宮内宮に於いて、「巫女のための神宮研修会」が開催されました。全国より八十人余りの巫女が神宮へと参集致しました。改服の後、参集殿内で結団式、宇治橋前での記念撮影、御正宮への参拝を終えた後、再び参集殿へと戻り、講話をいただきました。

第一講では、森真吾先生より「神宮の御由緒について」と「神楽殿のお作法について」の講話をいただきました。大麻や式年遷宮などの神宮の歴史を学ぶと共に、舞女取締の方より「舞女としてのあり方・心得」について、また二名の舞女の方に「舞女の装束について」「指導的立場の舞女として留意していること」など直接質問をする貴重な機会を得ることができました。舞女の方の神様への敬意と、神社の品位を保たれているお姿に感銘を受けました。

第二講では、河合真如先生より「神宮式年遷宮 神と人と永遠の命」の講話をいただきました。神様が国を作られた話から始まり、お米が神様から人々へ伝わり、様々な創意工夫を重ねながら今の米作りが誕生した事、神宮でも御鎮座以来、毎日絶える

ことなく朝と夕方に神様へ米をはじめとするお食事を捧げるといってお話を聞きました。神様からいただいたお米を日本人がどれだけ大切にしているか、そして、毎日の食事への感謝を改めて感じました。

午後六時より夜間参拝。日が沈み浄間に包まれた神域で列をなして御正宮まで参拝致しました。途中、五十鈴川の御手洗場で黙想をし、水の流れを聞きながら、罪や穢れを祓い清めました。張り詰めて凍とした空気や風を肌で感じ、大きく吸い込んだ神気を体全体で感じました。御正宮へ着くと、より研ぎ澄まされた神気に包まれながら、受講生全員で黙想をし、日々の感謝を神様へお祈り致しました。

その夜は、エクシブ鳥羽アネックスへ移動し、懇談会。普段、関わることのない各神社の巫女さんとお話しができ、とても楽しい談話になりました。

二日目は、二見浦の二見興玉神社へ正式参拝、外宮の御垣内参拝を致しました。神様により近い場へ進ませていただくということで、緊張感と日々の感謝を込めてお参り致しました。

参拝の後、神宮徴古館を拝観。一つ一つ細かく、手作業にて作られた神宝の数々に言葉を吞みました。

拝観後、解団式が行われ、特別のお取り

計らいにより、希望者のみ内宮の御垣内参拝をさせて頂き、全日程を終了致しました。

今、私達は感謝の心を忘れ、日々の恵みを当たり前だと思ってしまうようになりました。日本という国が神々によって見守られ、毎日を生きていく上で必要な水や空気が、そして恵みをいただき私達は生命をいただいていることを教わりました。そして日本はお米の国。瑞穂の国といわれるこの国は、とても瑞々しく、みんなの知恵や優しさがたくさん詰まったお米を一粒ずつ感謝の気持ちを持っていただくことで、神様と一体になり、国土が循環しているのだと感じました。

今回、研修会に参加させていただき、私は、今日からできることを巫女として、そして日本人として、神様や日本の国へお返ししていきたいと思えます。

目を閉じると伊勢の地で感じた空気を思い出します。優しく穏やかな心を忘れずに日々の奉仕に励みたいと思えます。

最後になりましたが、お世話になりました皆様様に厚く御礼を申し上げ、ご報告いたします。ありがとうございました。

石鐘神社 巫女 玉井 咲樹

## 神道青年全国協議会

### 第六十三回定例総会

去る四月二十七日、本社本庁二階大講堂に於いて神道青年全国協議会第六十三回定例総会が開催されました。

先ず先般の東日本大震災で亡くなられた方々に対し黙祷。大野清徳新会長（北海道輩出）の挨拶に続き、平成二十二年度の会務報告、一般会計決算書、各種収支計算書、監査報告、さらに本年度の活動方針の説明・事業計画・予算案まで異議なく承認されました。また本年は震災に対する神青協の対応について報告され、対応の素早さを感じました。



最後に総会決議が上程され、満場一致で採択されました。その決議文を記し総会報告とさせていただきます。

平成二十三年度定例総会決議

我々青年神職は、此度の東日本大震災に關する被災地、被災神社の復旧復興支援活動に邁進するとともに、愈々間近に迫った第六十二回神宮式年遷宮の啓発・参宮推進活動に積極果敢に取り組み、世界から賞賛される美しい国柄をさらに醸成していくことを期す。

右、決議する。

平成二十三年四月二十七日

神道青年全国協議会第六十三回定例総会

《清家 貞文》

第四十回定時総会報告

平成二十三年五月九日(月) 国際ホテル松山に於いて、長曾我部信弥会長以下二十一名の会員出席(委任:三十五名)のもと定時総会が開会されました。

総会に先立ち、東日本大震災の被災者へ黙祷を捧げ、長曾我部会長の挨拶の後、議長が選出され議案審議に入りました。平成二十二年年度会務報告・決算報告・監査報告、

平成二十三年度活動計画案・予算案が審議され、全ての議案に於いて異議なく承認され、滞りなく閉会致しました。

総会后、同ホテルにて、十亀興美庁長を

始め当会に關わり深い諸先輩方の出席(八名)を賜り、懇親の場が設けられました。初めに本年度より当会会長に任命された長曾我部会長より、東日本大震災という未曾有の事態を考慮して、恒例となっている懇親会の開催について思案された経緯を説明された上で、挨拶されました。次に来賓を代表して十亀庁長より、青年らしく明日に向かつて行く姿勢を大事にして欲しいとい



う激励の言葉を賜り、清家貞宏先輩から乾杯の発声を頂きました。

今年度から役員改選が行われたことにより新役員全員が挨拶をし、今期の抱負を語った後、三名の新入会員

からも自己紹介をして頂きました。また、三輪田副会長より嬉しいご結婚の報告もあり、会場は一層和やかなムードになりました。最後に、柳原先輩の中締めにより納めることとなりました。

私たち青年会会員が持っている共通の強みは若さです。この青春の時期にいかんなく若さを発揮し、青年会という場において普段の生活では触れることの出来ない活動を積極的に行うことにより、人との繋がりは勿論のこと、自分の視野も広げてみてはいかがでしょうか。斯界の発展の為にも一人でも多くの方の本会活動参加を心よりお待ちしております。

《柳原 永祥》

# 平成二十三年 会務報告

起 平成二十三年 四月一日  
至 平成二十三年 五月三十一日

平成二十三年

四月 一日

監査会

(十亀会長以下五名出席)

八日

第一回 役員会

(十亀会長以下十名出席)

二十六日

神道青年全国協議会 春期セミナー  
『生成熟の現代神道』其三『政治と現代神道』

第一講「近代法制と現代神道」  
講師 國學院大學研究開発推進機構 准教授  
齊藤 智朗 先生

第二講「政治問題と現代神道」  
講師 神道青年全国協議会 顧問・亀田八幡宮 禰宜  
藤山 敬廣 先生

(清家事務局局長以下四名出席)

神道青年全国協議会 第六十二回定例総会

(十亀会長以下三名出席)

第二回 役員会

(十亀会長以下十一名出席)

第三十九回 定時総会

(十亀会長以下二十一名出席)

全 懇親会

《十亀副庁長他御来賓三名御出席》  
(十亀会長以下二十一名出席)

神道青年四国地区協議会

第一回 役員会

(十亀会長以下六名出席)

会報「若竹」第九十四号 発刊

日本会議愛媛県本部 総会

(五十井会長代理出席)

第三回 役員会

会員研修会(参議院議員選挙について)

講師 神道青年全国協議会 顧問・青木夫藏宮 福宮

久富 真人 先生

(十亀会長以下十八名出席)

広島青年神職会との交流会

十六日

伊豫豆比古命神社

(八幡神社)

(神社本庁)

(伊豫豆比古命神社)

(全)

(みゆき会館)

(伊豫豆比古命神社)

(全)

(みゆき会館)

(伊豫豆比古命神社)

正式参拝

交流研修会

(十亀会長以下十一名参加)

神道青年全国協議会 波照間島「聖壽奉祝の碑」現状視察

役員研修会

(沖繩県聖徳寺と琉球信神)

(十亀会長以下二名出席)

愛媛県神社庁 第二回 定例協議委員会

(十亀会長出席)

女子神職会 第二十二回 定時総会

(十亀会長出席)

第四回 役員会

(十亀会長以下十名出席)

神道青年四国地区協議会

第十八回 定例総会並びに研修会

正式参拝

定例総会

研修会「話力」(次世代に伝える為)

講師 落語家

桂 こけ枝 先生

講師 テイクワン代表取締役

鎌倉 文子 先生

(十亀会長以下八名出席)

野外体験研修会

(十亀会長以下十七名参加)

神道青年全国協議会 夏期セミナー

『生成熟の現代神道』其四『情報社会と現代神道』

第一講「メディアと現代神道」

講師 國學院大學神道文化学部 准教授

黒崎 浩行 先生

第二講「インターネットと現代神道」

講師 榎原天満宮 福宜

神社オンラインネットワーク連名事務局

徳儀 隆三 先生

第三講「討議」(神符守札の尊嚴維持と送附授与)

発題者 神道青年全国協議会 会長 春本 秀紀

神道青年全国協議会 監事 伊奈 徹

八月 三十一日

八月 五日

八月 三十一日

八月 五日

八月 六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

七月 十六日

【広島護国神社】

【云州本店】

【神岡島】

【波照間島】

【神岡島】

【本島各地】

【神社庁】

【神社庁】

【神社庁】

【伊曾乃神社】

【香川県】(石浦尾八幡神社)

【ホテルニューフロンティア】

【全】

【大・島・多々羅キャンプ場】

【神社本庁】



九月 六日	初詣啓発ポスター発送作業 (十亀会長以下九名参加) 第九回 役員会 (十亀会長以下九名出席) 神道青年四国地区協議会 第十三回 神道行法錬成会 (十亀会長以下六名出席) 神道青年四国地区協議会 第二回 役員会 (十亀会長以下四名出席) 第二十八回 観月神楽の夕べ (十亀会長以下二十八名参加) 大分県神道青年会創立六十周年記念式典・懇親会 (清家事務局長代理出席) 長曾我部延昭宮司特級昇進を御祝いする会 (十亀会長以下四名助勢) 第六回 役員会 (十亀会長以下八名出席) 神道青年全国協議会 臨時総会 (十亀会長以下三名出席) 三島森田剛烈上道悼四十年忌慰霊祭 (十亀会長以下九名奉仕 長曾我部監事以下十名参加) 第七回 役員会 (十亀会長以下十名出席) 神道青年四国地区協議会 第三回 役員会 (十亀会長以下六名出席) 神道青年四国地区協議会 第六回 親睦ボウリング大会 (十亀会長以下十二名出席) 神道青年全国協議会 日本への領土視察研修会 「対馬の現状について」 長崎県立歴史民俗資料館見学	黒崎 浩行 先生 熊懐 隆三 先生 副会長 宮川 貴文	【愛媛県神社庁】 【全】 【白人神社】 【徳島県】 【新居浜市 宗像神社 富司 合田千里様】 【大分全日空ホテル】 【松山全日空ホテル】 【和霊神社】 【神社本庁】 【伊豫豆比古命神社】 【伊豫豆比古命神社】 【愛媛県】
九月 九日	【白入神社】		
十月 二七日	【大分全日空ホテル】		
十月 二九日	【和霊神社】		
十一月 九日	【神社本庁】		
十一月 二五日	【伊豫豆比古命神社】		
十二月 二日	【伊豫豆比古命神社】		
全	【愛媛県】		
八日	【ファーストボウル】		
〃九日	【長崎県対馬市】		

平成 23 年 一月 二日	講談「対馬の現状について」 講師 北村 芳正 先生 懇親会 海上自衛隊対馬防衛隊本部見学 対馬国一の宮海神社正式参拝 （講話 対馬の神社の現状） 和多数美神社参拝 (十亀会長以下二名出席)	
一月 二六日	会報「若竹・第五十五号」発行 年頭正式参拝 (十亀会長以下九名参拝) 第八回 役員会 (十亀会長以下十名出席) 臨時総会 (十亀会長以下二十名出席) 新年研修会 (十亀会長以下二十名出席) 演題 マナー講座Ⅲ ティブルマナー・洋食編 講師 国際ホテルソムリエ 土田 和男 先生	【愛媛縣護国神社】 【全 西の間】 【国際ホテル松山 パールの間】 【全】
二月 二日	新年互礼会 (十亀会長以下二十三名出席) 慰問神楽 (十亀会長以下二十六名出席) 第九回 役員会 (十亀会長以下十三名出席) 第十七回四国地区女子神職協議会総会 (十亀会長出席)	【全 伊予の間】 【松山市 河野保育園】 【伊豫豆比古命神社】 【道後ゆづき】
三月 二日	公計監査会 (十亀会長以下五名出席)	【伊豫豆比古命神社】
三月 七日	愛媛県青年全国協議会中央研修会(三月十七日・十八日)は 東日本大震災の影響により中止	

愛媛県神道青年会 平成 22 年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

歳入の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	800,000	672,000	△ 128,000	年会費・定時総会費・新年互礼会々費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,300,000	1,564,000	264,000	県内神職寄付金・諸事業援助金
4 雑収入	77,950	153,880	75,930	神青協事業還付金・事業収入・神青協中央研修会参加費返戻金
5 繰越金	422,050	422,050	0	平成 21 年より
歳入合計	2,800,000	3,011,930	211,930	

歳出の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 全 議 費	700,000	582,981	△ 117,019	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	670,000	336,235	△ 333,765	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・会青研修会・各種研修参加助成金
3 事業費	230,000	157,500	△ 72,500	初詣啓発ポスター・床几・盛塩器頒布事業
4 広報費	270,000	294,575	24,575	若竹 54 号 / 55 号作製費及び発送費
5 事務費	120,000	84,068	△ 35,932	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅 費	400,000	360,000	△ 40,000	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶弔費	40,000	47,982	7,982	慶弔費・電報代
9 分担費	280,000	279,000	△ 1,000	神青協及び地区協離出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	0	△ 10,000	
12 予備費	20,000	0	△ 20,000	
歳出合計	2,800,000	2,192,341	△ 607,659	

歳入合計 ￥3,011,930 歳出合計 ￥2,192,341 差引残高 ￥819,589

平成 23 年度に繰越

平成 23 年 4 月 7 日 愛媛県神道青年会役員会提出

上記の通り相違ない事を認めます

平成 23 年 4 月 7 日

監 事 阿 部 茂 之

監 事 長 曾 我 部 昭 一 郎

愛媛県神道青年会 平成 23 年度一般会計歳入歳出予算書 (案)

自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	800,000	700,000	△ 100,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,300,000	1,230,000	△ 70,000	県内神職寄付金
4 雑収入	77,950	411	△ 77,539	預金利子・事業収入
5 繰越金	422,050	819,589	397,539	平成 22 年度より
歳入合計	2,800,000	2,950,000	150,000	

歳出の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 全 議 費	700,000	700,000	0	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	670,000	800,000	130,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成金
3 事業費	230,000	220,000	△ 10,000	初詣啓発ポスター・床几・盛塩器頒布事業
4 広報費	270,000	300,000	30,000	若竹 56 号 / 57 号作製費及び発送費
5 事務費	120,000	120,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	400,000	400,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶弔費	40,000	40,000	0	慶弔費・電報代
9 分担費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協離出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	10,000	0	
12 予備費	20,000	20,000	0	
歳出合計	2,800,000	2,950,000	150,000	

歳入合計 ￥2,950,000 歳出合計 ￥2,950,000 差引残高 ￥0

平成 23 年 4 月 12 日 愛媛県神道青年会役員会提出

# 平成二十三年 活動計画 (案)

四月 七日	平成二十二年会計監査会	【伊豫豆比古命神社】
四月 十二日	第一回 役員会	【東予 石鎚神社】
四月 二十七日	神道青年全国協議会	【神社本庁】
五月 九日	第二回 役員会	【国際ホテル松山】
五月 二十六日	第四十回 定時総会並びに懇親会 神道青年四国地区協議会	【全】
六月 一日	第一回役員会 会報「若竹・第五十六号」発行	【香川県】
六月 八日	第三回 役員会	【愛媛県】
七月 二日	第四回 役員会	【北条鹿島キャンプ場】
七月 十三日	第十七回 定例総会並びに研修会	【神社本庁】
八月 八日	野外体験親睦会	【高知県】
八月 三十日	神道青年全国協議会	【高知県】
九月 五日	平成二十三年度 夏期セミナー	【愛媛県神社庁】
九月 六日	第十四回 神道行法錬成会	【愛媛県神社庁】
九月 下旬	神道青年四国地区協議会	【愛媛県神社庁】
九月 下旬	第二回 役員会	
九月 下旬	初詣啓発ポスター発送作業	
九月 下旬	第五回 役員会	

九月	第二十九回 親月神楽の夕べ	【徳島県】
十月	第六回 役員会	
十一月二十五日	第七回 役員会	
十二月	三島森田兩烈士追悼四十一周年慰霊祭 神道青年四国地区協議会	
全	第三回 役員会	
全	親睦ボウリング大会	
一月 二日	会報「若竹・第五十七号」発行	
一月	第八回 役員会	【国際ホテル松山】
一月	新年研修会・新年互礼会	【全】
二月	第九回 役員会	
三月 二十二日	神道青年全国協議会	
三月 二十三日	平成二十三年度 中央研修会	【福井県】

※(日時未定) 慰問神楽  
 ※(日時未定) 平成二十四年度の再発足四十周年事業についての諸行事  
 ※(日時未定) 新教育基本法に最も適った中学校教科書採択推進活動  
 ※時局問題への即応

●その他、役員会にて議案審議

平成二十二年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

御寄付

〔東予〕

金 壹拾萬圓也

石 鍾神社

金 伍萬圓也

大山祇神社

金 參萬圓也

一宮神社

神社庁

金 貳萬圓也

矢矧神社

堀江神社

金 壹萬伍仟圓也

今宮神社

金 壹萬圓也

三島神社

村山神社

橘新宮神社

原八幡大神社

玉生八幡神社

嘉母神社

榎本神社

熊野神社

荒木八幡大神

高尾神社

大井八幡大神社

愛媛県神社庁 殿

十 亀 興 美 殿

三 島 喜 德 殿

矢 野 哲 夫 殿

新 居 支 部 殿

田 窪 吉 典 殿

合 田 千 里 殿

佐 藤 伊 都 男 殿

大 西 元 宣 殿

榊 田 嘉 津 雄 殿

高 橋 佳 幹 殿

矢 野 敬 陽 殿

平 田 彰 殿

石 川 雅 司 郎 殿

石 川 漢 見 殿

田 邊 捷 殿

松 本 恒 夫 殿

綾延神社  
白山神社  
萩岡神社

渦浦八幡神社

三嶋神社

高浜八幡神社

風伯神社

須賀神社

大島八幡神社

大浜八幡大神社

潮早神社

姫坂神社

多伎神社

加茂神社

生名八幡神社

巖島神社

別宮大山祇神社

八幡神社

磐座八幡大神社

金 八仟圓也

大西神社

金 伍仟圓也

喜多浦八幡大神社

八幡大神社

奈良原神社

八幡宮

碓掛天満宮

橘八幡大神社

保内八幡神社

盛八幡大神社

森 正 康 殿

大 岡 益 子 殿

大 岡 忠 臣 殿

矢 野 宗 保 殿

越 智 静 治 殿

龜 山 和 磨 殿

大 野 一 郎 殿

藤 原 裕 博 殿

矢 野 秀 綱 殿

浅 垣 壯 次 殿

沼 崎 宜 英 殿

沼 崎 守 文 殿

池 内 公 和 殿

西 村 純 子 殿

合 田 康 成 殿

高 田 友 徳 殿

福 田 修 次 殿

藤 原 徹 也 殿

及 川 徹 也 殿

馬 越 祥 徳 殿

安 藤 紀 久 江 殿

馬 越 紀 久 江 殿

合 田 正 士 殿

小 池 清 史 殿

馬 越 將 文 殿

中 島 佳 代 子 殿

高 橋 幸 意 殿

金 參仟圓也

土居神社

弓削神社

岩城八幡神社

瀨戸八幡神社

〔中予〕

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金 伍萬圓也

愛媛縣護國神社

金 貳萬圓也

嚴島神社

金 壹萬圓也

桑原八幡神社

還熊八幡神社

雄郡神社

正八幡神社

大宮八幡神社

忽那島八幡宮

勝岡八幡神社

高縄神社

金刀比羅神社

湊三嶋大明神社

波賀部神社

井手神社

松山神社

伊佐爾波神社

日招八幡大神社

日吉神社

大山八幡大神

船越和氣比賣神社

矢 野 耕 一 郎 殿

川 原 啓 三 郎 殿

八 原 敬 睦 殿

卷 幡 俊 殿

長 曾 我 部 延 昭 殿

小 川 純 生 殿

柳 原 幸 殿

石 丸 剛 司 殿

玉 井 次 明 殿

高 市 誠 司 殿

重 松 讓 殿

眞 鍋 和 敏 殿

大 宮 信 篤 殿

武 智 輝 子 殿

正 岡 重 岩 殿

大 谷 伸 二 殿

渡 部 定 詔 殿

武 智 彰 宏 殿

横 田 貞 一 殿

正 岡 一 男 殿

野 口 光 比 古 殿

玉 井 正 保 殿

都 子 清 彦 殿

河 上 勝 昭 殿

重 松 長 英 殿

金 伍阡圓也 神社庁	松山支部忽那島分会 三好捷三殿
若宮八幡神社	山下幸志殿
金刀比羅神社	高市俊次殿
三島神社	別府頼房殿
徳威三嶋宮	武智成保殿
天満神社	渡部正己殿
築島神社	大内將通殿
阿沼美神社	武市盛幸殿
伊曾能神社	額田照彦殿
當田八幡神社	武智純二殿
天一稲荷神社	井上貞人殿
櫛玉比賣命神社	玉井貞臣殿
三島神社	相原宗正殿
浮嶋神社	都築芳憲殿
八坂神社	都築芳憲殿
新田神社	都築芳憲殿
立石神社	都築芳憲殿
新田八幡神社	都築芳憲殿
五柱神社	森東洋司殿
高家八幡神社	都子野清明殿
三島神社	武智仁志殿
朝日八幡神社	田内一弘殿
【南予】	
金 七萬圓也	
和靈神社	三輪田元亮殿
金 參萬伍阡圓也	
愛治七社	氏本学殿

金 參萬圓也	宇和支部殿
神社庁	八西支部八幡浜分会殿
金 貳萬圓也	田中清之殿
神社庁	宇和支部宇和島分会殿
三島神社	森本隆夫殿
金 壹萬圓也	菊地宣之殿
神社庁	寺谷秀彦殿
總社大明神社	梅原康孝殿
三島神社	和氣利雄殿
岡森神社	伊達享朝殿
明間神社	越智重安殿
三嶋神社	松浦徳芳殿
宇部宮神社	青木武司殿
三島神社	宇和島支部宇和島分会殿
黃幡神社	石野瑞木殿
金 伍阡圓也	石村聖殿
神社庁	宮本稚秋殿
八幡神社	上甲一則殿
諏訪神社	中臣利夫殿
天満神社	大川實殿
賀茂神社	菊池國興殿
船越若宮神社	
金 參阡圓也	
大本神社	
金 壹阡圓也	
湯嶋天神社	
金 壹萬圓也	
第三十九回定時總會 御祝	
愛媛県神社庁殿	

石鏡神社	十亀興美殿
三島神社	菊地宣之殿
伊曾乃神社	井上千賀司殿
伊豫豆比古命神社	眞鍋豊孝殿
高忍日賣神社	後藤正宜殿
金 伍阡圓也	二神良昌殿
客王神社	
第二十八回觀月神案の夕へ 御祝	
金 壹萬圓也	
伊豫豆比古命神社	愛媛県神社庁殿
宗像神社	長曾我部 延昭殿
白山神社	合田千里殿
臨時總會・新年互礼会 御祝	大岡忠臣殿
金 貳萬圓也	
石鏡神社	十亀興美殿
八幡神社	清家貞宏殿
金 壹萬圓也	
嚴島神社	愛媛県神社庁殿
高忍日賣神社	柳原幸殿
伊豫豆比古命神社	後藤正宜殿
朝日八幡神社	眞鍋豊孝殿
金 伍阡圓也	田内一弘殿
客王神社	二神良昌殿
御賛同の上御寄付を賜り深謝致します	
会長 十亀 博行	

～愛媛県神道青年会主催～

## 『第8回野外体験親睦会 in 北条鹿島キャンプ場』

- 【と き】 平成 23 年 8 月 8 日 (月・先負)
- 【と ころ】 松山市北条辻鹿島公園内 北条鹿島キャンプ場
- 【趣 旨】 大自然にふれ、会員相互の親睦はもとより、会員家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。
- 【参加資格】 愛媛県神道青年会役員・会員・OB・またはその家族・子弟、当県神社界に携わる者。
- 【概 要】 8 月 8 日 集合時間 **午前 9 時**を目安に**北条港**へ随時集合  
集合場所 北条港 鹿島渡船待合所  
宿泊施設等はありませんので、日帰りプランとなります。
- 【注意事項】 会費を超える予算の取扱いについては参加者全員での分担となりますことをご理解ください。なお、開催地までの交通費は自己負担となります。
- 【参加経費】 参加費未定 目安は大人 1 人 2,000 円 小学生以下 1,000 円程度
- 【その他】 愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作りに上げる行事ですので、皆様の寛大な心でのご協力をお願い申し上げます。
- 【参加申込】 締め切り日は 7 月 20 日とします。出来るだけ早めをお願いします。  
下記の FAX 用紙にて申し込みください。

**FAX 0897-55-7242** 石鎚神社 矢野忠臣宛

【お問い合わせ】 愛媛県神道青年会 矢野忠臣

**0897-55-4044 (石鎚神社)**

※台風、災害等、安全確保出来ない状況の場合は中止とさせていただきます。

※当日の催し物は、バーベキュー・スイカ割り・海水浴など計画しております。その他リクエストがございましたら、申込用紙にお書き添えください。

# 第7回 野外体験親睦会 in 多々羅キャンプ場



## 平成 23 年度愛媛県神道青年会主催 第8回野外体験親睦会 in 北条鹿島 参加申込書

申込日 平成 年 月 日

代表者住所	(〒 ) 愛媛県				
ふりがな 代表者氏名	男女	昭和 平成	年 月 日生	才	
ふりがな 氏 名	男女	昭和 平成	年 月 日生	才	
ふりがな 氏 名	男女	昭和 平成	年 月 日生	才	
ふりがな 氏 名	男女	昭和 平成	年 月 日生	才	
ご意見 ご要望					

## 青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介します。

三島神社 瀬宜 (元理事)

玉井 秀行 様

三島神社 宮司

垂水 晋介 様

高浜八幡神社 瀬宜

亀山 秀麿 様

喜多浦八幡大神神社 瀬宜

馬越 直哉 様

三島神社 瀬宜

寄町 学 様

龍王神社 宮司

今城 速人 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。

今後尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

## 新入会員紹介

八幡神社 瀬宜

常磐井 守道



東京で一般企業に勤めておりましたが、この度帰郷し、八幡神社に奉職させていただきましたこととなりました。

まだまだ未熟者ではありますが、精一杯神明奉仕に努めて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

三島神社 瀬宜 大西 元樹  
 村山神社 権瀬宜 古川 龍太郎  
 石岡神社 瀬宜 越智 知宏  
 一宮神社 権瀬宜 伊藤 福師  
 橘新宮神社 瀬宜 高橋 信史  
 大山祇神社 権瀬宜 加藤 大典  
 大山祇神社 権瀬宜 三木 康臣  
 以上新入会員です。

## 神道青年四国地区協議会行事案内

○第十七回定例総会・研修会

平成二十三年八月二日(火)・三日(水)

愛媛県神道青年会担当にて開催

○第十四回神道行法錬成会

平成二十三年九月五日(月)

高知県神道青年会担当にて開催

詳細につきましては、HPにて随時お知らせして参ります。奮ってご参加下さい。

## 神道青年全国協議会

### 中央研修会のご案内・ご報告

平成二十三年度神道青年全国協議会中央研修会が左記の日時通り執り行われます。

【日時】

平成二十四年三月二十二日(木・先負)

二十三日(金・仏滅)

担当地区・県が変更いたしました。

神道青年北陸地区協議会 主管

福井県神道青年会 担当

詳細につきましては、事務局へお問い合わせ下さい。